

平成28年度特別養護老人ホーム紫桐苑事業報告 (紫桐苑短期入所生活介護事業所含)

特別養護老人ホーム紫桐苑においては、入所者一人ひとりの人権と生活を尊重し、「自分らしい生活」を実現するための生活支援が施設サービスの基本と位置付けて取り組んだ。

また、事業の実施にあたっては、地域における介護施設としての存在と役割を認識し、基本的な支援の水準を常に維持すること、地域及び地域住民との親しみある関係を築くこと、福祉人材の育成に寄与することが総合的に成せることを目指して取り組みを進めてきた。

1 事業の概要

(1) 事業種類

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

短期入所生活介護

介護予防短期入所生活介護

(2) 事業規模

特別養護老人ホーム定員： 50名

短期入所生活介護定員： 10名

2 事業の実施状況

(1) 生活支援

①食事

食は健康と楽しみという重要な位置を占めることから、利用者への嗜好調査を実施して得られた意向を反映しつつ、個々の食形態や健康状態に応じた栄養管理をもって健康に過ごせるよう努めた。また、安全な食事を提供するために調理環境の衛生保持に努め、調理職員の細菌検査、厨房内消毒を月1回実施した。

②入浴

入浴回数は、原則として一人につき週2回行い、更に本人の希望により入浴できるよう月曜日から土曜日まで入浴を実施した。また、体調の都合で入浴できない場合においては、清拭を行うことで衛生保持に努めた。

③排泄介助

おむつ交換は、定時交換4回及び随時の個別確認、ケアコール対応により実施した。

④自分らしい生活

一人ひとりの生活のリズムを大切にし、本人の意思や意向を確認しつつ、自由で自分らしい生活が送れるよう、声かけをもってサポートすることに努めた。

⑤施設内行事・余暇活動

施設における人と人のふれあいの場として、毎月の誕生会、節句や季節に応じた諸行事を実施した。また、意向調査を実施して、利用者の意向を踏まえながら身体機能の維持増進に役立てる趣味活動の内容を考え、週2回のペースで活動を実施した。

⑥身体拘束ゼロ

身体拘束から起こるリスクの重大さを知り、「身体拘束を行わないのは当然である」という認識のもとでケアに取り組むことができた。また、やむを得ず身体拘束を行うケースにおいては、定

期的な検証と経過観察をもって対応することに努めた。

⑦事故防止・リスク軽減

施設で起こりうる事故を未然に防ぐための定期的な会議をもち、また、発生した事象については、再発防止のための早急な対策会議をもって利用者の事故・リスク軽減に取り組んだ。

(2) 個別支援の充実

アセスメントから得た重点的なケアや個別性のあるサービスを提供できるように定期的（半年ごと）なケア会議をもち、入所者家族と多職種間の連携をもって取り組んだ。

(3) 健康管理

入所者一人ひとりの心身共に健康で充実した日常生活が送れるよう、定期バイタルの測定、嘱託医師による回診（週1回）、健康検診（年1回）を実施して健康管理を行った。また、インフルエンザの流行期は、入所者・職員に予防接種を実施、面会者に対してもうがい、手洗いの励行等を強化し、更にマスクの着用をもって感染症対策を行った。しかしながら、入所者と職員に多数の罹患者を出す結果となり、次年度の対策については更なる検討をもって臨むこととする。

実施日	健康管理概要
7月6、13、20、27日	入所者健康診断実施（54名） 医療機関：宮古市国保新里診療所 ※この期間以後に入所された方は、入所後に随時実施
11月2、9、16、30日、12月6日	入所者インフルエンザ予防接種実施（47名） 医療機関：宮古市国保新里診療所 ※職員インフルエンザ予防接種実施 11月7日～16日

(4) 口腔ケアの推進

入所者個々の口腔内状態の維持及び向上、誤嚥性肺炎予防・感染症予防ならびに口臭を防止することを目的とし、新里診療所歯科医との連携をもって食前・食後の口腔ケアに努めた。連携して取り組んだ内容としては、入所者全員の歯科検診（年1回）、歯科衛生士の個別指導による口腔ケア（週1回）を実施した。

(5) 生活環境への配慮・衛生管理

各種介護器具の安全点検を定期的に行い、より安全に生活できる環境の整備を図った。また、施設内の装飾や掲示物の工夫をもって、楽しみある景観作りに努めた。施設内の除菌・脱臭のため、オゾン除菌脱臭機による、くん蒸消毒を月1回実施した。

(6) 会議

施設の運営及び管理、支援に対する方針の統一を図るため、運営連絡会議、苦情解決事業連絡会議、各部署会議、サービス担当者会議等を開催した。また、法人各事業所の職員で安全管理委員会、広報委員会、職員研修委員会を編成し、災害対策、広報、職員教育を法人全体で取り組んだ。

(7) 専門組織及びチーム活動

各職種の代表の参加により入所者の生活支援の向上と充実を図るため、入所検討委員会、事故防止検討委員会、感染症管理委員会、身体拘束廃止委員会、口腔ケア計画委員会等の活動を展開した。また、介護係における諸課題の解決、グループケアの推進を図るため、業務・処遇改善会議、口腔ケア担当班、余暇活動担当班、ヒヤリ・事故防止担当班、ショート担当班のチームでの活動を展開した。

(8) 職員研修

介護支援の向上や援助等に関する基礎知識の習得のため、施設内での内部勉強会を延べ9回実施した。また、外部で開催された研修会へ31回、延べ39名が参加した。

実施日	内部勉強会概要
5月18日	第1回スキルアップ勉強会 「接遇研修」
6月23日	第2回スキルアップ勉強会 「福祉施設職員の為の職業倫理と法令遵守」
8月25日	第3回スキルアップ勉強会 「事故原因の分析と対応策の取り方」
10月20日	第4回スキルアップ勉強会 「メンタルヘルス」
11月4日	感染症の予防及びまん延防止のための研修 「嘔吐物の処理対応の仕方」
12月15日	防災研修会 「宮古市における防災の取り組み」
1月19日	第5回スキルアップ勉強会 「緊急時の対応について」
1月20日	救命救急講習会 「応急手当講習」
3月23日	第6回スキルアップ勉強会 「身体拘束廃止に向けて、認知症の対応について」

(9) 防災対策

火災予防のため、また、災害発生時に入所者と職員が一体となって行動が取れるように防火・防災対策を計画し、夜間を想定した消防訓練を実施した。更には、台風10号被害を通して、自然災害による脅威、災害時の施設の立地状況、日頃からの危機管理のあり方等を再認識する経験をもった。このことを今後の防災対策に活かしていくこととする。

(10) 交流・ボランティア及び実習の受入れ

地域住民とのふれあいや交流の機会がもてるように努めた。具体的には、新里保育所との定期的な交流、新里地区の小中学校との交流、慰問者の受入れ、職場体験の受入れ、地域行事への参加や見学等を行なった。

実施日	概要	実施日	概要
5月28日	新里小学校運動会見学(新里小学校)	10月11日	新里保育所交流会(桐の花)
6月23日	新里保育所交流会(紫桐苑)	10月12日	新里中学校福祉体験学習(新里中学校)
7月5日	新里保育所交流会(紫桐苑)	10月15日	新里小学校学習発表会見学(新里小学校)
8月3日	青山学院女子短期大学ハンドベル演奏(紫桐苑)	10月23日	盛岡さんさ踊り来苑(紫桐苑)
8月5日	納涼祭開催(紫桐苑、桐の花)	11月29日	新里小学校4年生交流会(紫桐苑)
8月21日	茂市熊野神社例大祭神輿来苑(紫桐苑)	12月8日	新里保育所交流会(紫桐苑)
9月13日	敬老会(台風被害のため中止とした)	12月27日	新里中学校ボランティア活動受入(紫桐苑)

3 利用者の状況

(1) 紫桐苑長期入所者

①年齢状況

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計
男	0	2	2	1	2	2	2	0	0	11
女	0	0	0	3	8	13	7	6	0	37
計	0	2	2	4	10	15	9	6	0	48
比率	0.0	4.2	4.2	8.3	20.8	31.2	18.8	12.5	0.0	100.0
平均男性 79.7歳		平均女性 88.0歳		全体平均 86.1歳			最高 98歳		最低 66歳	

②在所期間状況

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	計
男	3	2	5	1	0	0	11
女	8	10	9	5	3	2	37
計	11	12	14	6	3	2	48
比率	22.9	25.0	29.2	12.5	6.3	4.1	100.0
平均男性 3 年 平均女性 4 年 7 ヶ月 全体平均 4 年 3 ヶ月							
最高男性 8 年 10 ヶ月 最高女性 23 年 11 ヶ月							

③入退所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所	男	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4
	女	2	0	1	2	1	1	0	1	0	1	0	1	10
退所者	男	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	4
	女	1	2	1	2	0	0	0	1	1	0	1	2	11
月末 在者数	男	11	12	13	12	12	11	11	11	10	11	11	11	—
	女	39	38	37	37	38	39	39	39	38	39	39	37	—
	計	50	50	50	49	50	50	50	50	48	50	50	48	—
退所者の平均在所期間 4 年 5 ヶ月														

④新規入所者の入所前状況

	男	女	計
自 宅	0	5	5
医療機関	2	1	3
老 健 他	2	4	6
合 計	4	10	14

⑤退所者の退所後状況

	男	女	計
死 亡	3	9	12
長期入院	1	2	3
合 計	4	11	15

⑥介護度区分状況

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	0	0	0	4	7	11
女	0	0	5	19	13	37
計	0	0	5	23	20	48
平均男性 4.6 平均女性 4.2 全体平均 4.3						

(2) 紫桐苑短期利用者

①利用状況

	利用者数	最高齢	最年少	平均
男	14	98歳	68歳	85.6歳
女	50	97歳	74歳	89.0歳
計	64	—	—	88.3歳

実施日数	364 日
利用延人数	2,148 人
1日あたりの利用者数	5.9 人

②介護度区分状況

	男	女	計
自立	0	0	0
要支援1	0	0	0
要支援2	0	1	1
要介護1	2	6	8
要介護2	3	13	16
要介護3	4	14	18
要介護4	3	13	16
要介護5	2	3	5
計	14	50	64